



SDGsと共に描く宮城のこれから

次期総合計画「新・宮城の未来ビジョン」とSDGs

現在策定中の県政運営の基本的な指針となる次期総合計画「新・宮城の未来ビジョン(2021〜30年度)」では、理念や施策の中で、持続可能な開発目標(SDGs=Sustainable Development Goals)の特徴や目標の考え方を取り入れます。SDGsを通して、本県が目指していく将来の姿を県民や企業の皆さんと共有するとともに、あらゆる主体の参画・連携・協働を促進しながら、幸福を実感し、いつまでも安心して暮らせる宮城を目指します。

人口減少社会に向けて

15年に国連で採択されたSDGsは、30年を目標年度とし、「誰一人取り残さない」持続可能な世界の実現に向け、貧困の「世界共通の目標」です。

本県は間もなく東日本大震災から10年という節目を迎え、今後、本格的な人口減少局面を迎えることが想定されています。その中で地域経済、社会の持続性の確保、大規模化・多様化する自然災害や新型コロナウイルス感染症への対応といったさまざまな課題に直面しています。県民一人一人が幸福を実感し、地域の活力維持、持続的発展を達成するためにも、SDGsの理念を取り入れ、さまざまな取り組みを推進していく必要があります。

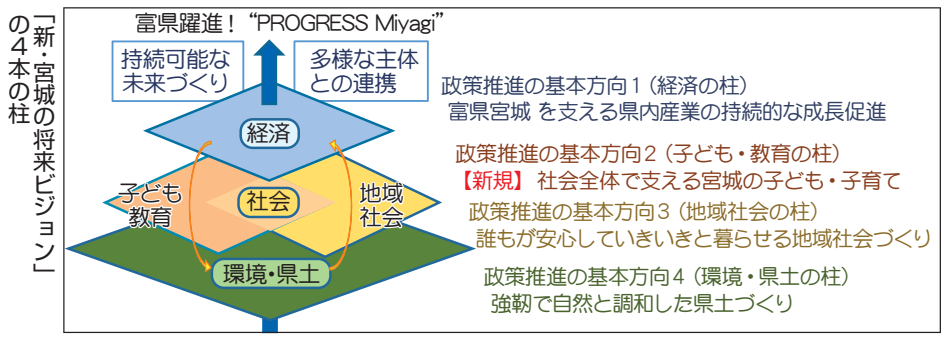
県民一人一人の目標に

SDGsは特徴の一つとして、企業や市民など、多様な主体の参画を求めています。自治体や企業、そして県民一人一人がSDGsの達成に向けて取り組むことで、「誰一人取り残さない」持続可能な宮城を創り出すことにつながります。

また、「経済」「社会」「環境」の三つの側面の関連性を意識した取り組みを推進していくことも特徴の一つです。本県も計画の新たな県政運営の理念「富県躍進! PROGRESS Miyagi」の達成に向けて、強靱で自然と調和した原土づくり(環境)を基盤とし、県内経済を安定的に成長させながら(経済)、その成果を子育てや教育、地域社会づくり(社会)のさらなる充実につなげていく取り組みを生かしていきます。

持続可能な富県躍進を

内閣府は18年度からSDGs未来都市を選定しており、初年度に選定された東松島市に続き、今年度は仙台市と石巻市が選定されました。県内におけるSDGsへの関心や取り組みは着実に広がっています。



宮城・南三陸のNPO法人 ウィメンズアイ

女性の元氣な地域に

「ジェンダー平等」実現に力



地方で暮らす女性が社会とつながり、力を付けて活動を始め、自分らしく輝いてほしい。宮城県南三陸町を拠点に活動するNPO法人ウィメンズアイ(WI)は、各種講座やワークショップの開催、起業支援、相談業務などを通じて、女性の元氣と地域活性化を後押しし、SDGsが掲げる「ジェンダー平等」と誰一人取り残さない社会の実現を目指している。山あいの小さな大造工房に、焼きたてパンの香ばしい香りが漂う。パン菓子工房Ouu(ウイ)はWIが運営する共同加工場だ。「おいしいカンパニーが食べたい」という地元女性の声をききかけに、プロを招いてパン講座を始めたのがきっかけ。パンやお菓子を本気で作って販売したい」と思う女性たちに、多額の初期投資を掛けなくてもチャレンジできるような、WIが建設し、食の販売に必要な保健所の製造許可も得た。ブルーベリーやワカメなどの地元食材や、天然酵母、国産小麦などを使い、利用者それぞれがこだわりのパンを作り、自分の屋号で販売している。

販売している。WI事務局長の栗林美知子(さん41)は「利用者のうち2人は自分のお店を構えるなど、起業しており思いを形にする場になった」と話す。WIも週3回オリジナルパンを製造し、工房で販売している。

■企画 宮城県広報課 ■問い合わせ先 宮城県震災復興政策課 022(211)2418

新素材ライメックス生産 TBM白石工場

使い捨て文化に一石

石灰石用いプラや紙を代替

石灰石を主原料に、プラスチックや紙の代替として使われる新素材「ライメックス」。耐久・耐水性に優れ、リサイクルしやすいことから、レジ袋有料化など環境意識の高まりを契機に注目が高まっている。

ライメックスは素材系ベンチャー企業TBM(東京)が開発し、同社白石工場で生産している。一般的な紙と製法が全く異なるため、製造工程に使う水は機器冷却用途のみ。さらに、8月から再生可能エネルギーを供給する電力会社と契約し、全使用電力を環境型に切り替えた。「エコ」な新素材は、循環型社会を強く意識した環境から生み出されている。

「社名のTBMには「Time Bridge Management」という思いを込めている」と話すのは、同社サステナビリティー担当の羽鳥徳郎(さん27)。使い捨て文化を変え、未来に美しい環境を残す、つないでいくことの意志が同社のスタート地点だ。



シート状のライメックス。カタログやメニュー表などに利用される

県からのお知らせ

緊急小口資金などの特例貸付の受付期間が12月末日まで延長されました

宮城県社会福祉協議会では、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した世帯に対して、緊急小口資金などの特例貸付を実施しています。

●対象 / 新型コロナウイルスの影響を受け、休業などにより収入の減少があり、一時的な生計維持のために貸し付けを必要とする世帯や、生活が困難な日常生活の維持が困難となっている世帯

●受付期間 / ～12月31日(木)

※お住まいの市町村社会福祉協議会

家たび&ドライブスタンプラリーINくるわに参加してみませんか?

黒川地域にて、スマホでできるスタンプラリーを実施しています。対象スポットを周遊したり、ホームページを巡ったりしてスタンプを集めると、抽選でプレゼントが当たります。

●日時 / ～12月13日(日)

●対象地域 / 黒川地域(富谷市、大和町、大郷町、大衡村)

●参加方法 / スマホで登録すれば、どこでも参加できます。登録方法など詳しくはホームページをご覧ください。

※仙台地方振興事務所 022(275)9140

登米市内飲食店で食べよう「ササニシキ&りんご」フェア開催

【登米産ササニシキごはんの日】

●内容 / 参加店舗(登米市内18店舗)による新米「ササニシキ」のご飯、おにぎり、お寿司などの提供

●期間 / 11月29日(日)までの土日祝日

【登米産りんごに使っています】

●内容 / 参加店舗(登米市内12店舗)による完熟りんごの菓子、料理などの提供

●期間 / ～12月31日(木)

詳しくはホームページをご覧ください。

※東部保健福祉事務所登米地域事務所 0220(22)6123

民生委員・児童委員にご相談ください

民生委員・児童委員は、地域で高齢者や障害のある方の見守り、子どもたちへの声掛けなどを行っています。

また、介護の悩み、子育ての不安、経済的困難による生活上の心配など、さまざまな相談に応じ、必要な支援が受けられるよう、地域の専門機関とのつなぎ役になります。秘密は守られますので、安心してご相談ください。

お住まいの地域の民生委員・児童委員については、各市区町村福祉担当課にお問い合わせください。

【民生委員について】

※社会福祉課 022(211)2519

【児童委員について】

※子育て社会推進課 022(211)2528

女性のための面接相談

DVや離婚、セクハラ、子育てなど、人間関係で悩む女性のための面接相談を実施します。

●日時 / 10月21日(水)午前10時30分～午後4時

●場所 / 登米合同庁舎

●費用 / 無料

●申し込み / 前日までに下記へ

※東部保健福祉事務所登米地域事務所 0220(22)6118

都市計画変更の説明会

●内容 / 仙塩広域都市計画区域区分の変更について

●日時・場所 /

①10月8日(木)午後7時～
名取市民体育館第1会議室

②10月9日(金)午後7時～
富谷市役所3階303会議室

※都市計画課 022(211)3134

こころのケア講座

DVやいじめ、セクハラ、パワハラ、子どもの頃の虐待など人間関係で傷ついた女性の心の回復を支援する「こころのケア講座」を開催します(匿名での参加可)。

●日時 / 10月21日(水)午後1時30分～4時

●場所 / 県石巻合同庁舎

●費用 / 無料

●申し込み / 前日(託児を希望される場合は開催日の6日前)までに下記へ

※東部保健福祉事務所 0225(95)1431

復興大学県民講座受講生募集

復興の現在と未来について一緒に学び考えるオンライン講座です(参加無料)。

●開催日 / 10月10日(土)、17日(土)、31日(土)

●会場 / ウェブ会議システム「Zoom」によるオンライン開催

●申し込み / ファクシミリ、Eメールまたはホームページから下記センターへ

※東北工業大学地域連携センター(復興大学事務局) 022(305)3818 FAX022(305)3808

Eメール fukkoudaigaku@tohotech.ac.jp

※私学・公益法課 022(211)2295

宮城県国土利用計画(第六次・中間案)の意見募集

●資料公表場所 / 地域復興支援課、県政情報センター、各地方振興事務所(地域事務所)(仙台を除く)県政情報コーナー、ホームページ

●募集期間 / 10月7日(水)から11月6日(金)までに郵送(消印有効)、ファクシミリ、Eメールにより住所、氏名、電話番号を記入して下記へ

※地域復興支援課 〒980-8570(所在地記載不要) 022(211)2441(電話による意見提出はできません) FAX022(211)2442

Eメール tsint@pref.miyagi.lg.jp

「だて正夢」の新米販売開始

宮城県が誇るブランド米「だて正夢」の新米がいよいよ10月中旬から全国一斉に販売開始となります。

また、11月1日(日)から30日(月)まで、県内外の「だて正夢」を提供している飲食店において、その場で「だて正夢」が当たるキャンペーンを実施します。店舗情報など詳しくはホームページをご覧ください。

今年の新米も、とびきりの甘みともちもち感のあるお米に仕上がっています。ぜひ、「これぞ天下をとる旨さ」を味わってください。

※みやぎ米推進課 022(211)2841

小・中学生保護者への就学援助制度

経済的理由により就学が困難な小・中学生の保護者の方は、学校教育法の規定に基づき就学援助(学用品費・給食費など)を受けることができます。

また、被災(東日本大震災・東日本台風)により就学困難となった児童生徒の保護者を対象とした就学支援制度も実施しています。

申請方法など詳しくは、お住まいの市町村教育委員会にお問い合わせください。

※各市区町村教育委員会

※県義務教育課 022(211)3642

駐車監視員資格者講習

●内容 / 放置車両の確認業務などの技能・知識に関する講習および修了考査

●定員・受講手数料 / 20人(先着順)・2万円

●講習日 / 12月1日(火)、2日(水)

(修了考査12月9日(水))

●場所 / ハーネル仙台(仙台市青葉区)

●申し込み / 県内各警察署交通課窓口または下記で配布する申込書を、10月30日(金)(消印有効)までに持参または郵送により下記へ

詳しくはホームページをご覧ください。

※警察本部交通指導課 022(221)7171

〒980-8410(所在地記載不要)

第3回建設産業振興支援講座の受講者募集

●内容 / 講演「土木分野におけるBIM/CIMの最新動向と3次元モデル」

●日時 / 10月28日(水)午後1時30分～4時30分

●場所 / 県庁2階第二入札室

●定員・費用 / 50人(先着順)・無料

●申し込み / 10月23日(金)までに、申込書を郵送(必着)、ファクシミリまたはEメールにより下記センターへ

●申込先 / みやぎ建設総合センター 〒980-0824 仙台市青葉区支倉町2-48 022(266)3355 FAX022(266)3303

Eメール info@miyakken.center.or.jp

※事業管理課 022(211)3116

みやぎの3R推進キャンペーン

10月は3R推進月間です

県は、循環型社会形成推進計画(第2期)に基づき、県民の皆さんに3Rを実践していただくための取り組みを実施しています。

へらす【リデュース】

ごみを減らそう

つかう【リユース】

ものを最後まで大切に繰り返し使おう

もどす【リサイクル】

ごみを分別して資源に戻そう

●ラジオCM 3R推進月間にエフエム仙台、東北放送で放送中
※ホームページでも聞くことができます。

●3Rに関するパネル展示 10月5日(月)から9日(金)まで(県庁1階ロビー)
10月27日(火)から11月12日(木)まで(県図書館)

●お買い物にはマイバックを持参しましょう

7月1日から全国一律でレジ袋有料化が始まりました。何気なくもっていたレジ袋を有料化することで、それが本当に必要なものが考えやすくなり、私たちのライフスタイルを見直すきっかけとなることを目的としています。お買い物の際はマイバックをご利用ください。

10月は食品ロス削減推進月間にもなっています

●お買い物のとき

お買い物の前に冷蔵庫の中の在庫を確認するなど、食べきれないほどの食材を買いすぎないようにしましょう。すぐに食べる商品は、賞味期限や消費期限の短い商品を選択せず、陳列棚に購入しましょう。

●調理のとき

調理のときは、食べられる分だけ作るようにしましょう。食材が余ったときは、使い切りレシピを検索してみましょう。

●食べきれないとき

買いすぎて食べきれない場合や、贈答品が余ってしまう場合には、フードバンクなどへの寄付やお分けを検討しましょう。

10月30日はみやぎ県民食べきりの日

※循環型社会推進課 022(211)2649 Eメール junkan@pref.miyagi.lg.jp